

クラウドサービスELCLOUDの納入



写真提供: 作州商事(株)

エイルマンション箱崎公園の外観

View of EIR Condominium Hakozaki Park



スマホ呼びサービスの画面例



写真提供: 作州商事(株)

ロボット連携サービス

ELCLOUD (エルクラウド)は、エレベーターに新たな価値を創造、提供するクラウドサービスである。2024年4月に、作州商事(株)のエイルマンション箱崎公園にELCLOUDを納入した。

ELCLOUDは、クラウド接続用インターフェースを備えており、外部との通信によって、エレベーターを単なる移動手段から生活を便利にするツールへと進化させる。“スマホ呼びサービス”では、スマートフォンからエレベーターの乗車階や行き先階が登録可能となり、非接触操作や待ち時間短縮など利便性向上に寄与する。スマートフォンが利用者との新たなタッチポイントとなり、利用状況の把握や新たなサービス提供に効果をもたらすと見込まれる。また、“ロボット連携サービス”では、エレベーターとロボットサーバーなどほかのシステムとの連携により、サービスロボットのシームレスな移動を可能にする。

エイルマンション箱崎公園では、管理業務効率化などの確認検証を実施しており、利用者や管理者の新しいライフスタイルや価値実現に貢献している。

ELCLOUDを活用したサービス

Elevator-calling service using smartphone and robot autonomously riding elevators utilizing ELCLOUD cloud service

東芝エレベータ(株)

昇降機的设计業務・据付現場向けVR技術



仮想のエレベーターとエスカレーター

Virtual elevators and escalators



次の手順に向けポインターを操作している様子

VR技術による仮想空間での作業

Demonstration of VR-based safety training

建築業界では、設計業務や据付現場での3次元技術の活用が進んでいる。その一つとしてVR(仮想現実)技術が注目されており、この度、昇降機向けのVR技術を開発した。

設計段階での機能・形状などの確認には、従来はCG(コンピューターグラフィックス)画像を用いていたが、VRヘッドセットを導入して、デジタル技術で仮想のエレベーターを再現し、実物に近い感覚でデザインや乗車イメージを体験できるようにした。これにより、顧客の理解度が高まり、仕様決定プロセスの効率化が可能になった。

据付現場は、けがの発生リスクが高いため、安全教育の強化が必須である。過去に発生した労働災害を分析し、けがの発生リスクが高い作業と経験の浅い作業員を対象とした安全教育のコンテンツを作成した。VR技術により、誤った作業をした場合にどのような結果につながるのかを、アバターを通して体験できる。現場では許されない失敗を意図的に仮想空間で体験するという、VR技術ならではの優位性を生かして、教育効果の向上に寄与する。

東芝エレベータ(株)